



は 初・N・E・T

初台リハビリテーション病院

URL <http://www.hatsudai-reha.or.jp>

2007
冬季号

編集・発行／医療法人 輝生会 初台リハビリテーション病院 〒151-0071 東京都渋谷区本町3-53-3 TEL.03-5365-8500

平成19年12月24日（通巻第16号）

脳卒中地域連携バスの紹介①

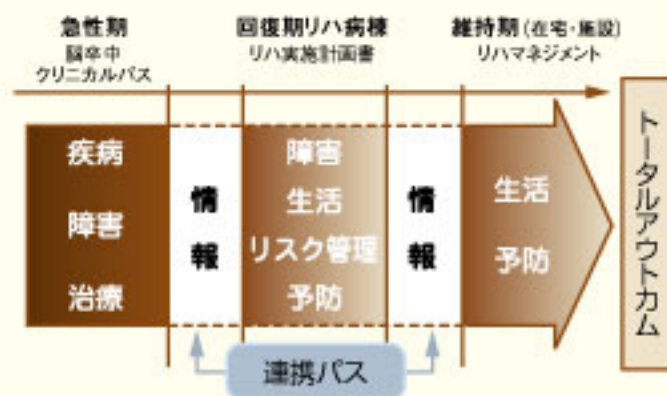
平成18年の診療報酬改定では、様々な波紋を生じた「算定日数上限の設定」の陰に隠れた感がありますが、「地域連携診療計画管理料」が新設されました。地域における医療機関同士のスムーズな連携を促す目的で作られたものです。現在のところ対象は大脳・小脳・脊髄骨折に限られていますが、今後は脳卒中をはじめとする他の疾患にも拡大される見通しです。

脳卒中の治療では、急性期病院で集中的な高度医療を行ったのち、速やかに回復期リハビリテーション病棟に移り十分なリハビリをうけ、住み慣れた自宅へのスムーズな復帰をはかるというのが理想的な流れです。一つの病院でこのすべての流れを完結できれば理想的ですが、限られた資源を効率的に活用するため、現在は病院の機能分化が進んでいます。このため病院間の連携がうまくいかなければ、治療が寸断されてしまう可能性があり、連携をスムーズに行うためのツールとして連携クリニカルバス（連

携バス）が注目されています。連携バスとは「複数の医療機関が役割分担を含め、診療内容を患者に提示・説明することにより、安心して医療を受けることができるようにするもの」と定義されています。

当院でも急性期病院との連携をより一層強化するために、今後この連携バスの開発を進めてゆこうと考えています。今回は、この連携バスについて詳しくご紹介します。

院長 木下 牧子



仮名文字学習のための自主トレ

皆さんはご存知ですか？ 失語症という言語障害になると、仮名文字を書いたり読んだりすることが難しくなるということ。漢字を書くことも、病気をする前のように自在に操るという訳にはいかなることが多いのですが、漢字なら少しは書けるのに、仮名はさっぱりということもあるのです。

★★



例えば、「猫」が泣いていた(!)のを見たことを書きたくて、「猫が泣いていたよ」と書きたかったとします。

その場合、一生懸命考えて「猫」が書けたとします。でも、その後に続くはずの「が」「泣」「い」「て」「い」「た」「よ」が出て来ない、どんな字だったかわからない、試行錯誤の末何か書いても違ってしまうというようなことが起きます。(P2に続く)

冬季号
ラインナップ!!

2P 仮名文字学習のための自主トレ (続き)

3P 仮名文字学習のための自主トレ(続き)
薬劑科メール Vol.12

4P 満足度調査結果
あとがき

どうしてそういうことが起こるかについては、色々な説明がなされています。簡単に言えば、失語症になると、自分が伝えたい意味に直接結びつく漢字は思い出しやすいけど、音と結びつく仮名文字の場合、ことば（の音）が頭の中で想起できない、又は、ことばの音と仮名文字が結びつかなくなるために難しくなるのだと言われています。

それでは、一生仮名文字を書いたり読んだりすることは出来ないということでしょうか？非常に言語障害（失語症）が重いとそういうこともあるのですが、多くの場合、少しずつでも、学習して行くことが可能です。ただ、こつこつ再学習のための努力を重ねて行く必要があります。言語聴覚士から訓練を受けるのに加えて、日々自主トレを行うことで、以前の力には及ばないにしても、仮名が書けるようになる可能性はあるのです。

ここで、仮名文字だけでなく、日本語の文字体系について考えてみましょう。

日本語というのは、話し言葉はさておいて、文字体系は非常に複雑な言語です。漢字が数千という単位で存在します。更に、日本語には平仮名とカタカナという文字があり、それぞれ「清音」「濁音」「半濁音」に分かれています。「清音」というのは、「あいうえお、かきくけこ」等のことで、全部で46文字あります。「濁音」は「゛」がついた「がぎぐげご」のような文字のことで、全部で20文字、半濁音（「ばびぶべぼ」）は5文字あります。それに加えて「きゃ、しゅ」などのような小さな文字を使って書く「拗音」が36文字あり、全部で102文字あることになります。

仮名文字訓練の方法にはいくつかあるのですが、その中の一つである「キーワード法」について説明しましょう。

◇ キーワード法とは？

⇒単語（それをキーワードと呼びます）を思い出すことを利用して、その単語の最初につく仮名文字を書けるようにする方法です。

◇ なぜ直接仮名文字を一つずつ覚えなくて単語を利用するのでしょうか？

⇒意味のない音を表す仮名一文字を学習することが難しい失語症の人でも、意味と結びつく単語だと学習できることがあるという特性を利用するためです。



◇ どんな単語をキーワードにするのですか？

⇒通常清音の訓練から始めます。46ある清音の内、「を」を除いた45の清音から始まる単語（「ん」の場合は終わる単語）を選びます。

例えば、「**あ**め(雨)」、「**い**す(椅子)」、「**う**み(海)」のように、絵になる簡単な単語が良いですね。でも、ご本人が言いやすい単語にするのが一番なので、例えば、「**こ**うべ(神戸)」のように、地名でご本人に馴染みがあるところなんていう場合もあります。

◇ 実際にキーワードを使って「ねこ」と書く場合はどんな風にするのでしょうか？

⇒ステップ1：「ねこ」という単語（音）を思い出します。

ステップ2：「ねこ」が「ね」と「こ」から成っていることを頭の中で考えます。

ステップ3：「ね」は鼠の「ね」だからと考え、「ね(すみ)」を思い浮かべ、その内の「ね」だけを書く。

ステップ4：「こ」は「神戸」の「こ」だからと考え、「こ(うべ)」を思い浮かべ、その内の「こ」だけを書く。

◇ これだけのことをするのはそんなに大変なんでしょうか？

⇒はい、とても大変なんです。というのはこの中に「モーラ分解」というプロセスが含まれているのです。

◇「モーラ分解」って何ですか？

⇒それは、一つの言葉がどんな音から成るか分解する能力です。例えば、「ねこ」を「ね」と「こ」に分解する能力です。この力が十分保たれていない人は仮名文字を書けるようにはなりません。この力が低下している人の場合は、単語をモーラに分解する課題を自主トレとして行います。

◇失語症の方は仮名文字が書けるようになるために どんな自主トレをするのですか？

⇒色々あるのですが、代表的なものをご紹介します。

- ①キーワードを覚えて、絵を見て言う、絵を見て書くことが目標です。そのためにキーワードを決めて、その絵を見て言う、その絵を見て書く（漢字と仮名で）を繰り返し練習します。そのために表に絵、裏に文字が書いてある絵カードを言語聴覚士が作ってあげて、絵を見てすぐ言える、すぐ書けるようになるまで練習します。何度も何度もやらないとすぐまた忘れてしまいます。
- ②モーラに分解する課題は、漢字で書かれた単語を見て、音読してから、モーラ数分だけ○を書く練習を繰り返します。更に、その内どの○が特定の音であるか判断する課題も行います。そのためには、例えば、「か」なら、「か」が必ずどこかにある単語のリストを言語聴覚士が漢字で作成し、どこに「か」があるかを頭の中で考え印しをつける課題を行います。
- ③上記の課題である程度正答できるようになって来たら、清音だけでできた単語（漢字）に仮名を振る課題をします。これも、できるだけ沢山、何度も何度も行う必要があります。

ここまで読んで、皆さんは、失語症の方の苦労は計り知れないものだと感じませんか？

本当にそうです。小さい頃どうということなく身につけてしまった平仮名が再び書けるようになるために、自主トレを毎日毎日こなさないといけない訳ですからね。

しかも、最終的に、全部の平仮名がゆっくりであれ、書けるようになるまでに、数ヶ月から年単位の時間がかかる場合さえあります。それを成し遂げるまでの間、こつこつ自主トレを続けて行く失語症の方々に心からエールを送りたいと思います。

教育部副部長 言語聴覚士 藤林 眞理子

薬剤科メール
vol.12

薬とグレープフルーツジュースとの飲み合わせ

最近、薬との飲み合わせが問題になる食品として、グレープフルーツジュースが注目されています。グレープフルーツジュースにはビタミンCが多く含まれ、1/2個で1日分のビタミンC摂取量を補給でき、疲労・ストレス回復や美肌効果などがあるとされています。しかし、医薬品との飲み合わせが問題になる場合があります。グレープフルーツジュースとの飲み合わせが問題になる薬として、降圧薬のCa拮抗薬がよく知られています。例えば、アダラートというCa拮抗薬をグレープ

フルーツジュースと一緒に服用すると、グレープフルーツジュースの成分が薬を代謝する酵素を阻害し、代謝を遅らせます。そのため血中の濃度が上がり、薬の作用が強くなり、血圧が低くなりすぎる恐れがあります。副作用発現の原因にもなりかねません。降圧薬のすべてのCa拮抗薬が影響するわけではありません。また、他の薬でグレープフルーツジュースとの飲み合わせが良くないものもありますので、詳しくは医師・薬剤師にお尋ねください。

薬剤科 川村 智美

◆ 満足度調査結果 ◆

初台リハビリテーション病院では、当院の提供するリハビリ医療や様々な取り組みについて、皆様にご意見を伺い、今後の改善に役立てるため毎年「満足度調査」を行っています。

今年も9月3日(月)～8日(土)の期間、入院中および外来通院中の皆様にご協力いただき「満足度調査」を実施しました。速報結果がまとまりましたので、ご報告いたします。たくさんの具体的な貴重なご意見もいただきました。現在各部署でお寄せいただいたご意見をもとに、改善策を検討中です。次号では、具体的な改善策をお知らせできると幸いです。

ご協力ありがとうございました。また、温かい励ましのお言葉、改善のための貴重な示唆をいただきましたこと、重ねてお礼申し上げます。

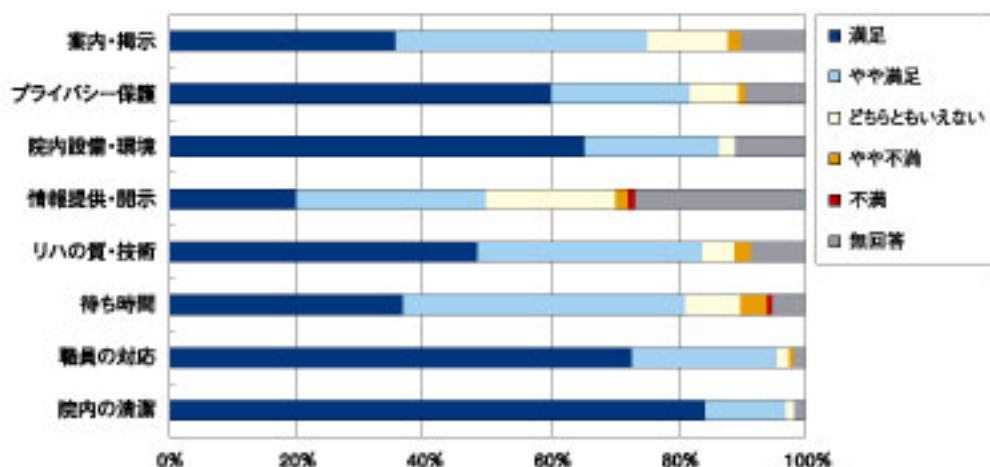
初台リハビリテーション病院 院長 木下 牧子

満足度調査結果(外来)

●アンケート回収数：329名
回収率91%

満足・やや満足が80%を下回った項目は案内・掲示、情報提供・開示でした。

待ち時間については、改善行動の結果、昨年度より高い評価をいただきましたが、不満と評価なされた方もおられるので、引き続き改善のための努力を続けてまいります。

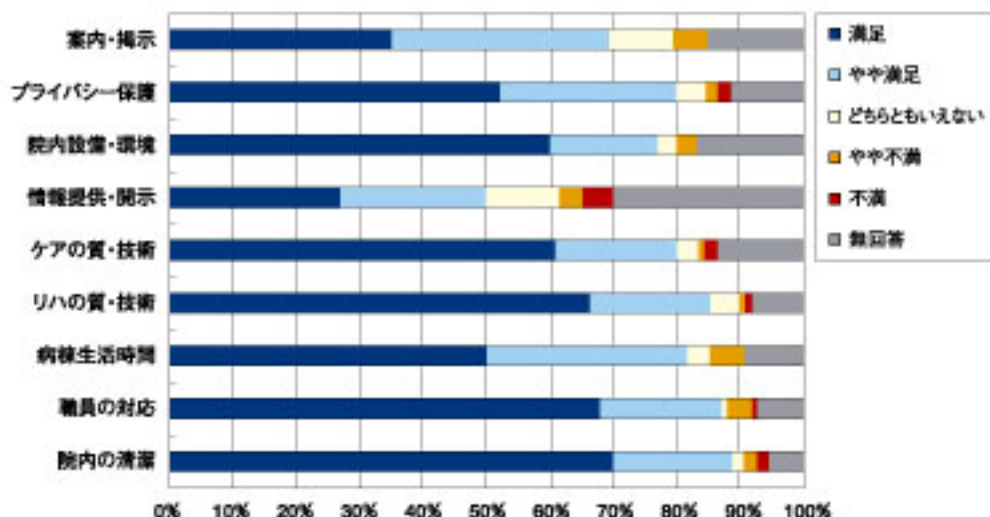


満足度調査結果(入院)

●アンケート回収数：109名
回収率69%

満足・やや満足が80%を下回った項目は案内・掲示、情報提供・開示、院内設備・環境でした。

院内の清潔、職員の対応、リハビリ・ケアの質・技術は全体の満足度は高いものの、不満と評価なされた方もおられました。引き続き改善のための努力を続けてまいります。



あ
ど
が
き

今回の仮名文字学習のための自主トレの記事はいかがでしたか。あらためて日本語の難しさを実感しました。さて、日に日に寒さが増しています。皆様体調管理には十分気をつけて、楽しい冬を迎えましょう。

言語聴覚士 菅原明菜



お知らせ



* 当院の理念に賛同頂き 山本 晃 様 からご寄付を賜りました。